

中期経営計画(2016年3月期～2020年3月期)

中期経営計画(2016年3月期～2020年3月期)

新生東京エレクトロン 真のグローバルカンパニーへの挑戦

営業利益率 20-25%

ROE 15-20%

中期事業目標

半導体前工程製造装置の市場規模370億ドルを前提とする中期目標において、2020年3月期までに営業利益率25%、ROE20%の業界トップクラスの収益力構築を目指します。

また、変動の大きい市場特性に鑑み、市場規模300億ドルの場合にも、営業利益率20%、ROE15%を達成できる経営体質の構築に取り組んでいます。

	2016年3月期(実績)	2020年3月期(中期経営計画)	
半導体前工程製造装置市場規模	315億ドル	370億ドル	300億ドル
売上高	6,639億円	9,000億円	7,200億円
売上総利益率	40.2%	44%	42%
販売費及び一般管理費	1,504億円	1,700億円	1,600億円
売上高販管費比率	22.6%	19%	22%
営業利益	1,168億円	2,250億円	1,450億円
営業利益率	17.6%	25%	20%
親会社株主に帰属する当期純利益	779億円	1,550億円	1,000億円
ROE(自己資本当期純利益率)	13.0%	20%	15%

ビジョン

革新的な技術力と、多様なテクノロジーを融合する独創的な提案力で、半導体産業とFPD産業に高い付加価値と利益を生み出す真のグローバルカンパニー

経営方針

- 経営基盤および技術基盤を強化し、グローバル水準の収益力を構築します
- 市場環境や顧客ニーズの変化に対応し、真のニーズを捉え、総合的に技術力を結集してスピーディにソリューションを提案する「顧客ニーズ創造型」企業を目指します

実行体制

- 新CEOによる強力な執行体制
- 迅速な業務執行を可能とするグローバルなコーポレートシニアスタッフ(CSS)の設置
- 幅広い知見、若い世代をマネジメントに起用
- グローバルレベルでの人材の積極的活用

主な施策

市場成長を上回る売上拡大とオペレーションの効率化により、グローバル水準の利益体質を実現します

